



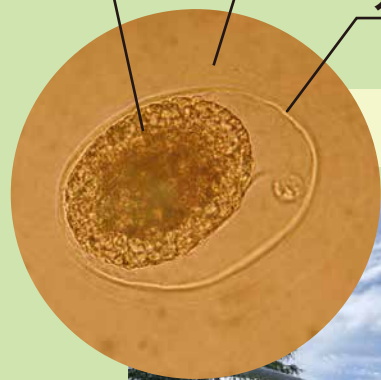
WE LOVE HORSE



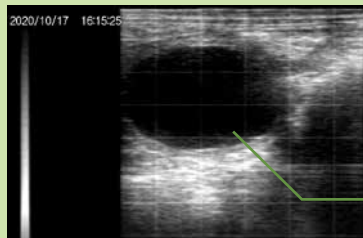
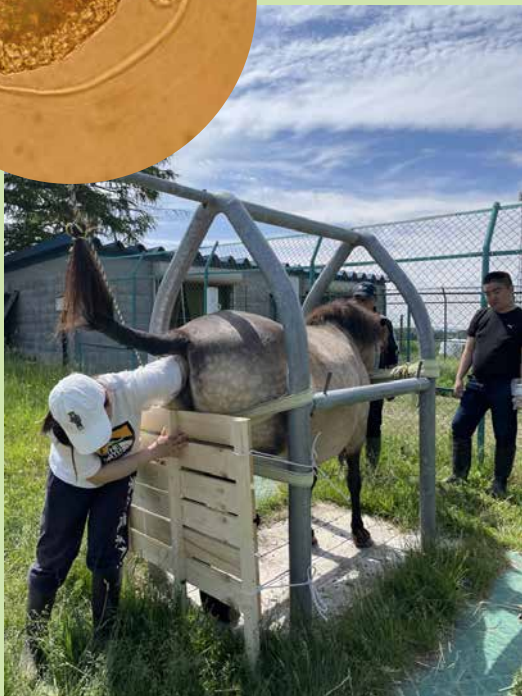
北海道と馬の繁殖学

1973年、北海道大学の小栗紀彦助手(後に帯広畜産大学教授)らが世界に先駆けて、非外科的受精卵移植で子馬の生産に成功した。1985年には、やはり北海道大学の山本博士(後に北海道立畜産試験場長)らによって、世界で初めて液体窒素中で保存した受精卵から子馬が誕生した。
北海道の馬学の歴史は古いんだ。

受精卵
透明帯
カプセル



馬の受精卵移植プロジェクト



エコーで
観察した
馬の卵巢
卵胞



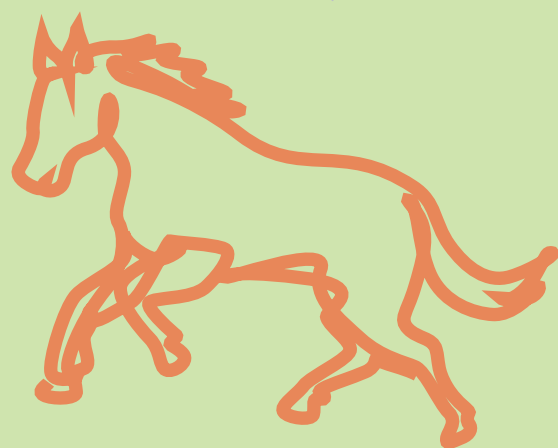
排卵後の
卵胞

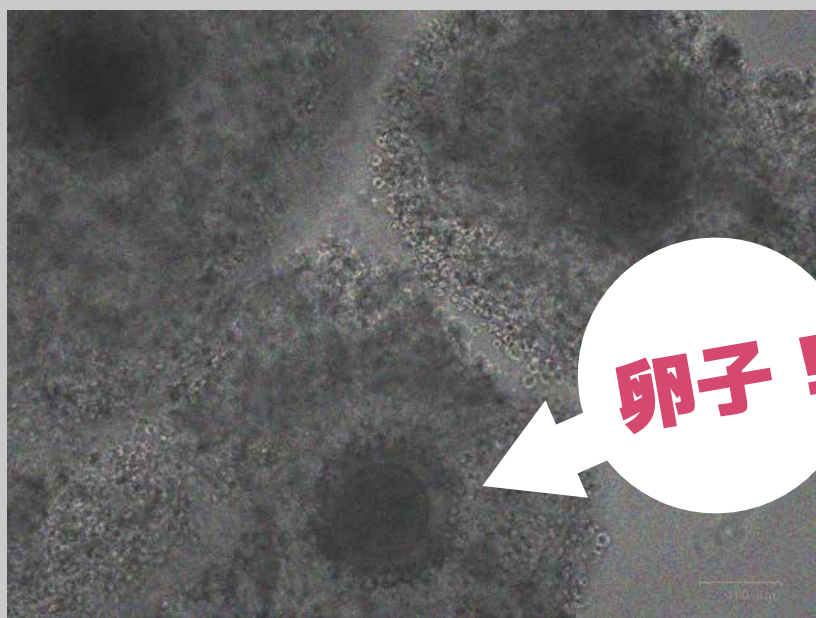
30年前に凍結保存した受精卵から、
北海道和種馬(通称:ドサンコ)を
誕生させようというプロジェクトだよ。

初めて馬に触れる学生と馬術
同好会の学生と一緒に
馬の調教と乗馬を楽し
んでいるよ。
ドサンコは、冬の寒
さも平気なんだ。



学生うま活





北農IVFプロジェクト・プレゼンツ
北海道立美幌高等学校コラボ企画

う し 活

牛の繁殖管理を極める



自分で作った体外受精卵からの
子牛生産を目指して活動中



知床の環境を守ろう

クマ活

Save Bears

世界遺産知床のヒグマたち

ヒグマの高密度生息地帯である知床半島。ヒグマと人間が安心して共存するには、お互いのテリトリーを守ることが大事です。

多くの人々に知床を感じてもらいながら、野生動物が暮らす自然環境も保全していくことが求められています。



クマ活運営サポート
ボランティア

草
刈り

ゴミ
拾い

啓発
活動

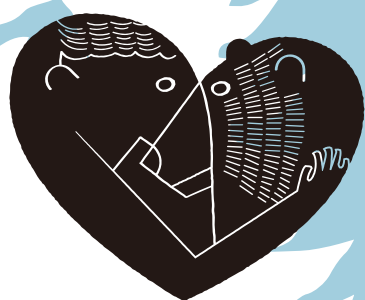


「クマ活」は、知床・北こぶしリゾートが運営する“ヒグマと人との共存を目指す”活動です！

企画運営 北こぶしリゾート

世界有数のクマ高密度地帯である知床を中心に、草刈りやゴミ拾いなど、クマと人それぞれの境界線を明確にするための活動に取り組んでいます。クマが好きな人、知床が好きな人、草刈りをしたい人、、、地元や都会の様々な人々との交流から、新たな価値観に気づくことができます。

私たち農大生ボランティアは、運営の手伝い、グループワーク時のムードメーカーなど！！若さと明るさを武器に、積極的に参加しています。世界自然遺産知床を自分たちの手で良くしていく、この地に暮らす私たちにしかできないこの課題に、やり甲斐と使命感を持って楽しく取り組んでいます！



クマ活
SAVE BEARS
KUMAKATSU®

北方圏農学科 湯浅允鵬

私たちは種から「おいしい」を作りたい
畑の中だけでは終わらせません
キッチンでおいしさを追及します
そして、あなたに1つの体験としての食べ物を届けます
ただ買うだけでは始まりません
食べているものの一生を知って欲しい
「おいしい」を畑から作る世界にしたい
私たちは、みんなが畑をのぞくための窓でありたい
そう思って本気の小麦屋さんは活動を行っています

学生むぎ活



本気の小麦屋さん



育てる



開発する



とどける

新農業

東京農業大学 生物産業学部



@HONKINO_KOMUGIYASAN

学生もり活

The 100 Square-Meter Movement Trust.

100平方メートル運動の森・トラスト



知床の森林整備活動で農大生が大活躍しています！かつて乱開発の危機にあった知床国立公園内の開拓跡地を保全し、原生の森を復元するために1977年から続く取り組み「100平方メートル運動」。シカの食害や植栽林の樹種の多様化など、様々な問題を解決するための「森づくり」ボランティアが知床財団運営のもと行われています。季節ごとの活動に、1年生から大学院生まで、多数のオホーツク農大生がやる気とパワーで貢献しています！世界遺産を保全する。オホーツクでしかできない体験がここにあります！

原生の森へと育てる